

## 第6回 応用人間科学研究科校友会 総会

- ◆ 開催日：2013年 1月 21日（月）
- ◆ 開催時間：午後 9時 15分～ 9時 45分
- ◆ 開催場所：創思館3階（ 303・304 ）

### ◆ 総会次第

#### 1. 開会

#### 2. 挨拶

#### 3. 議案及び議事

- ①議長の選任・議事進行者の選任
- ②2011年度活動報告・校友会入会状況
- ③2011年度会計報告（収支報告）
- ④2012年度予算
- ⑤2012年度活動予定
- ⑥役員の改選について
- ⑦議決及び審議

#### 4. 閉会

## 議案及び議事

### ①議長の選任・議事進行者の選任

議長：野池雅人

議事進行：浅井あゆみ

### ②2011年度の活動報告・校友会入会状況

#### ◆役員会の開催：計3回

2011年10月6日、2012年5月18日、2012年7月12日

◆フォーラム報告 <別紙資料—1>

◆ニュースレター第2号報告 <別紙資料—2>

#### ◆役員会の主な討議内容：

- ・中長期予算計画
- ・対人援助フォーラムの企画・運営協力
- ・ニュースレター第2号検討
- ・校友会入会案内
- ・校友会活動の広報など（学位授与式）

#### ◆校友会入会状況

会費納入者を入会者とカウント

2001年度入学	2002年度入学	2003年度入学	2004年度入学
22名	13名(1)	9名	8名
2005年度入学	2006年度入学	2007年度入学	2008年度入学
11名	8名	49名	56名
2009年度入学	2010年度入学	教職員等	
54名	42名	23名(3)	

※（）内は2011年度入会者

計 295 名

2012年9月30日現在

③2011 年度会計報告（収支報告）

別紙<資料—3>

④2012 年度予算

別紙<資料—4>

⑤2012 年度活動予定

- ・ 修了生を中心にした実践発表の場としての対人援助フォーラム（夏頃）
- ・ OBOG と現役生との交流会
- ・ 会員獲得活動
- ・ ホームページによる情報発信
- ・ 校友会広報誌（第3号）の作成

⑥役員の改選について（2012 年度）

- ・ 会長：野池雅人
- ・ 副会長：渡邊佳代
- ・ 事務局長：土田菜穂
- ・ 事務局：鈴木史織
- ・ 役員：安井美鈴
- ・ 役員：辻本 礼
- ・ 役員：太田隆士
- ・ 役員：南多恵子

<役員退任>

- ・ 上田陽子
- ・ 松田 祥
- ・ 浅井あゆみ
- ・ 上仲 久

<新役員>

- ・ 辻本 礼
- ・ 太田隆士
- ・ 南多恵子

⑦議決及び審議

## 2012年 対人援助フォーラム 報告

応用人間科学研究科校友会事務局  
(2012年7月12日役員会資料)

2012年対人援助フォーラムの実施について、以下に報告いたします。

### 1) 概要について

- 1, 名称：対人援助フォーラム2012「先輩たちとのダイアログ・パーティ」
- 2, 企画立案：キャリア支援プロジェクト
- 3, 主催：ダイアログ・パーティー実行委員会 応用人間科学研究科  
共催：応用人間科学研究科クラス会 応用人間科学研究科校友会
- 4, 日時：6月17日（日）受付開始 13時30分
  - ・ダイアログ：14時～
  - ・懇親会：17時半～
- 5, 場所：立命館大学 衣笠キャンパス 諒友館
  - ・ダイアログ：地下食堂（Café Rosso）
  - ・懇親会：1階
- 6, 参加費：
  - ・ダイアログ：無料
  - ・懇親会：2,000円
- 7, 内容：
  - ・ダイアログ：ゲストによる講演／ダイアログ（全員参加）
  - ・懇親会：立食による懇親会
- 8, 対人援助フォーラムにおける校友会の予算：250,000円

### 2) 校友会の参画について

#### ○広報

- ・会員への広報（ハガキ）
- ・修了生MLでの告知
- ・役員による個別呼びかけ

#### ○ゲストに関して

- ・ゲスト招聘（3名）
  - 臨床領域系：山崎昌子さん（1期生、臨床心理学領域）
  - 社会系：相良考雄さん（2期生、対人援助学領域）
  - 教育系：松田 祥さん（1期生、対人援助学領域）
- ・ゲスト謝礼および謝礼に係る諸手続き

#### ○当日の役員参加

### 3) 実施状況

#### 1, 参加人数

- ・ダイアログ：35名

・懇親会 : 28 名

(うち、校友会役員 4名)

2,校友会当日入会 : 3 名 (春日井先生、野田先生、吉先生) ※後日入会 1 名

3,校友会執行状況 : 82,220 円

※内訳 : ・ゲスト謝礼 65,300 円 (「5,000 円分の謝礼+交通費実費」×3 名分)

・郵送費 11,600 円 (@50×232 枚) 広報用ハガキ

・協力費 2,800 円 (@100 円×28 個)

ダイアログ用お菓子 : 東北被災地授産所 “NPO 法人麦の会” クッキー

・校友会役員交通費 2,520 円 (2 名分、動員 4 名のうち 2 名は不要)

4,キャリア支援

懇親会において、キャリア支援プロジェクトの一環として、修了生にメンター協力を依頼したい旨、乾氏より説明があった。

5, 所感

「ダイアログ・パーティー実行委員会」が行ったアンケートによると、参加者の回答より満足度は高かった様子である。少人数ではあったが、始終和やかな雰囲気が漂い、その分ゲストも交えて当日の参加者が十分に交流を楽しめたのではと思われる。

4) 今後の予定

小冊子「キャリアパンフレット」の作成 (ダイアログ・パーティー実行委員会)

・今回の様子を小冊子にまとめる。

・10 月末を完成目標とする。

・応用人間科学研究所および校友会の各 HP にアップロードする。

5) 課題とまとめ

・もともと、卒業生—現役生が連携して行う小さなイベントの予定が、ふくらんで今回の形となった。そのため、非常に短い時間で準備しなければならないという状況が発生した。また、現役生・校友会ともに初めて一緒に企画を行うメンバーであった事もあり、共通認識が不足したままの実施となった。運営主体の現役生に対しても未確認の点多々あり、当日に多少の影響が出たと思われる。

今後は任せきりにすることなく、むしろ共催として、社会人機能を持つ校友会としてフォロー体制も整えながら、共通認識と望ましい実施スタイルを持った運営が望まれるであろう。

・今回をきっかけに現役生との接点を持つ、つながりができた事は成果である。また一緒に実施できたからこそ見えてきた点があり、これをどう次につなげるかで、今後より有意義な企画が実施できよう。これを機会に、さらなる校友活動の円滑・活性化、および研究科や現役院生との連携強化を図りたい。

## ニュースレター第2号発行について（報告）

応用人間科学研究科校友会事務局

校友会ニュースレター第2号発行について、以下に報告いたします。

### 記

- 1、名称：立命館大学院 応用人間科学研究科校友会ニュースレター 第2号
- 2、発行月：2012年7月
- 3、完成ファイル：PDFファイル
- 4、枚数：8ページ
- 5、発行メディア：応用人間科学研究科校友会HP上  
([http://www.r-gsshsa.jp/news\\_2.pdf](http://www.r-gsshsa.jp/news_2.pdf))
- 6、第2号内容：
  - ・2012年度 対人援助フォーラムを終えて／キャリアパンフレット紹介
  - ・修了生の原稿
  - ・校友会新役員紹介
  - ・書籍紹介
  - ・昨年の活動紹介：2011年度 10周年記念事業（懇親会）の写真より
  - ・入会方法・問い合わせ先、ほか

以上

立命館大学大学院応用人間科学研究科校友会 2011年度 決算報告

期間：2011年10月1日から2012年9月30日まで

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算	科目	予算額	決算
前年度繰越額	1,421,686	1,421,686	通信費①	20,000	17,812
校友会入会金 (2002年-2008年)	50,000	10,000	専用携帯電話 通信費②	7,000	6,430
校友会入会金 (2011年度卒業)	500,000	420,000	レンタルサーバ/ドメイン年間管理料		
教職員等	0	30,000	旅費交通費	30,000	2,240
事業収入	0	0	印刷費	3,000	0
その他事業収入	100,000	0	郵送費	70,000	22,190
受け取り利息	0	246	事務用品費	10,000	0
			消耗品費	10,000	0
			その他雑費 記念品・校友会参加費、振込手数料等	30,000	31,750
			対人援助フォーラム運営経費	250,000	82,220
			その他事業経費 交流会・ニューズレター等	100,000	0
			次年度繰越金	1,541,686	1,719,290
合計	2,071,686	1,881,932	合計	2,071,686	1,881,932

上記の通り、2011年度決算内容を報告いたします。

2013年1月14日

応用人間科学研究科校友会事務局  
浅井 あゆみ



監査の結果、上記の2011年度決算内容の報告に相違ないことを認めます。

2013年1月15日  
応用人間科学研究科校友会 監査役 川原 義彦



上記の2011年度決算内容について、適正に監査されましたことを報告いたします。

2013年1月21日

応用人間科学研究科校友会 会長 野池 雅人



## 立命館大学大学院応用人間科学研究科校友会 2012年度 予算書

期間:2012年10月1日から2013年9月30日まで

(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
前年度繰越金	1,719,290	通信費① (専用携帯電話代)	20,000
校友会入会金 (2002~2010年度卒)	50,000	通信費② (レンタルサーバー/ドメイン年間管理料)	7,000
校友会入会金 (2011年度以降)	500,000	旅費交通費 (役員交通費)	30,000
事業収入	100,000	印刷費 (役員会等資料)	3,000
受取利息	0	郵送費 (総会、フォーラム案内郵送代等)	70,000
		事務用品費	10,000
		消耗品費	10,000
		その他雑費 (立命館大学校友会参加費等)	30,000
		対人援助フォーラム運営経費	250,000
		その他事業経費 (交流会、ニュースレター作成等)	100,000
		今年度支出合計	530,000
		次年度繰越金	1,839,290
合計	2,369,290	合計	2,369,290



## 6回 応用人間科学研究科校友会 総会 議事録

1. 日時 : 2013年 1月 21日 (月) 午後 9時 10分～ 午後 10時

2. 場所 : 立命館大学衣笠キャンパス創思館3階 ( 303・304 )

3. 議題 :

審議事項

- ①議長の選任・議事進行者の選任
- ②2011年度活動報告・校友会入会状況
- ③2011年度会計報告(収支報告)
- ④2012年度予算
- ⑤2012年度活動予定
- ⑥役員の変更について
- ⑦議決及び審議

4. 出席者 : 総数 21名 (役員 7名、会員 14名)

役員	会員
野池 雅人 (会長)	荒木 穂積 (応用人間科学研究科)
浅井あゆみ (事務局長)	尾上 明代 (応用人間科学研究科)
安井 美鈴 (役員)	春日井敏之 (応用人間科学研究科)
土田 菜穂 (役員)	竹内 謙彰 (応用人間科学研究科)
渡邊 佳代 (役員)	谷 晋二 (応用人間科学研究科)
鈴木 史織 (役員)	団 士郎 (応用人間科学研究科)
太田 隆士 (新役員)	中村 正 (応用人間科学研究科)
	野田 正人 (応用人間科学研究科)
	村本 邦子 (応用人間科学研究科)
	望月 昭 (応用人間科学研究科)
	嶋津 雅彦 (独立研究科事務局長)
	乾 明紀 (校友会員)
	棚橋 慎介 (校友会員)
	山口 良子 (実験・実習相談室)

## 5. 議事経過

(1) 開会 野池会長より

(2) 挨拶 荒木穂積先生より

(3) 議長・議事進行者の選任

議長 野池雅人、議事進行 浅井あゆみがそれぞれ指名され、承認された。

(4) 審議事項

### ①2011年度の活動報告・校友会入会状況

- ・ 浅井事務局長より、役員会の開催、対人援助フォーラムの報告、ニュースレター第2号発行の報告があった。その他の活動の報告も実施された。
- ・ 校友会入会総数は、2011年度295名となったことが報告された。
- ・ 会員より、ニュースレターの媒体に関して質問があり、野池会長よりPDF化したものをホームページ上に掲載していることが説明された。総会では、参考資料として印刷したものを配布した。
- ・ 会員より、年度別の会員数の割合や代理徴収の始まった年度の質問があり、野池会長より、代理徴収が2007年度より始まり、それ以後ほとんどの修了生が校友会に入っているが、2007年度以前の修了生の会員が少ないことが報告された。
- ・ 会員の乾氏より、キャリア支援プロジェクト企画の代表として、対人援助フォーラムについて報告があった。

### ②2011年度会計報告（収支報告）

- ・ 浅井事務局長より、2011年度の会計報告がなされた。支出額が162,642円で、次年度繰越金が1719,290円であった。2011年度は、対人援助フォーラムを在学生主催で研究科との共催したため支出が低くなったことが説明された。

### ③2012年度予算

- ・ 浅井事務局長より、2012年度予算の報告が実施された。
- ・ 会員より、次年度繰越金の目的を問われた。また事業の規模と繰越金を含めた収入が不釣り合いとの指摘も受けた。野池会長より、校友会設立より運営を基盤にのせることを目的とされてきたが、代理徴収も始まり収入が安定したことから、今後繰越金の目的について役員会でも議論をしていくことが確認された。
- ・ 説明を受けて会員より、会費を払った会員へ還元できるように「周年事業の積み立て」など目的化する必要があると、活動内容もニュースレターなどで校友会の活動を毎年報告する必要があるとの意見があった。

#### ④2012 年度活動予定

- ・ 浅井事務局長より、2012 年度の活動予定が報告された。
- ・ 会員より、メーリングリストの位置づけや管理、名簿についての質問があった。野池会長より、校友会専用のメーリングリストは所有しておらず、応用人間科学研究科のクラス会が所有する現役生と修了生を含めたメーリングリストがあること、管理者は現役生の代表であることが説明された。
- ・ また、総会の案内やその他の連絡があるときは、応用人間科学研究科のクラス会所有のメーリングリストを使用して伝達をする、ホームページに掲載する、ハガキ等で案内状を送るなどの方法が取られていることが説明された。また、名簿についても応用人間科学研究科の校友会で管理していないことが加えて説明された。
- ・ 説明を受けて会員より、校友会会員への連絡手段が確保するために、今後メーリングリストの位置づけや管理について、大学側と協議することが確認された。

#### ⑤役員の改選について（2012 年度）

- ・ 野池会長より、2012 年度の役員の紹介があった。

### 6. 議決および審議

野池会長より議決の可否が問われ、審議事項は全員一致で承認された。